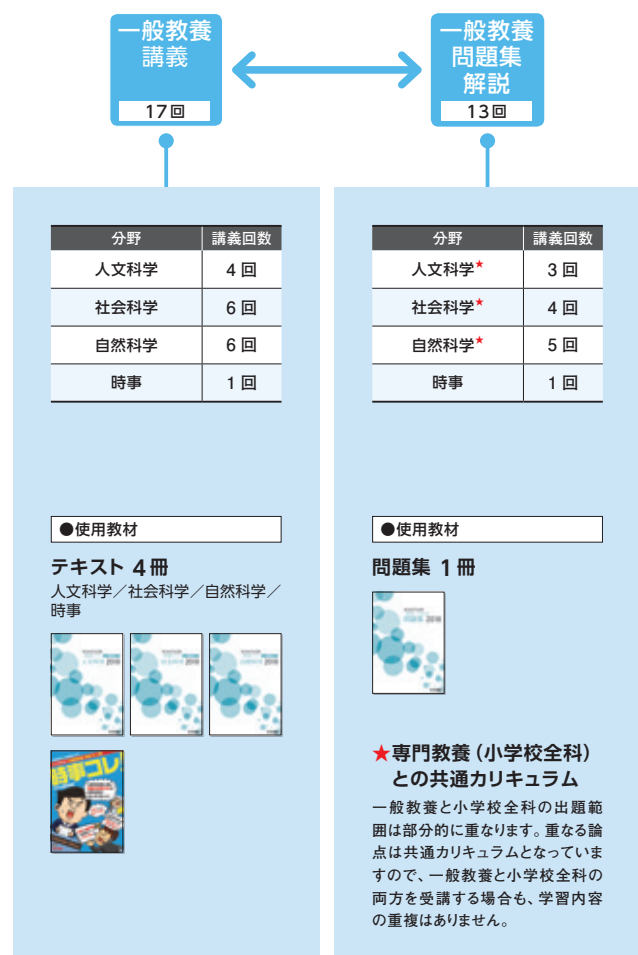


一般教養対策

INPUT 180分×17回 OUTPUT 180分×13回

教採の頻出論点をピックアップ。

一般教養は全分野を完璧にカバーすることは困難です。そのため出題可能性の高い分野に絞って学習を進めるのが賢い戦略です。TACでは限られた時間を効率的に使えるよう、全国の過去問を徹底分析し、膨大な学習内容から頻出論点をピックアップ。一般教養のインプット&アウトプットの負担を最小限におさえます。



TACはすべてがよかった！

いいところですが絞ります。まず県別対策がよかったです。講義や教材がすべて受験先の出題傾向をもとに構成されていたので重宝しました。また問題集解説もよかったです。本屋に行けば問題集は売っていますが、それは解いた後解説を読んでも納得しない場合が多々あります。しかし、TACでは解説講義があり、解説が丁寧でよく理解でき、時間の省略にもつながりました。



石坂 隼太 さん

埼玉県 小学校全科

専門教養対策

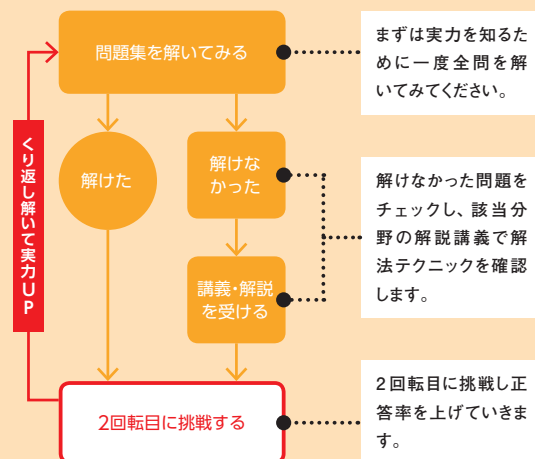
OUTPUT 180分×11～20回* *教科により異なります。

演習ベースの実践型カリキュラム。

専門教養はスペシャリスト同士が競うハイレベルな試験です。合格ラインに到達するためには、早い時期から本試験レベルの良質な問題に多く触れ、とにかく早く先頭集団に入ることが大切です。TACでは問題集ベースの実践型カリキュラムで効率よく実力UPを目指します。

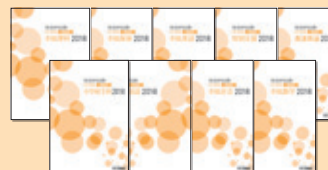


インプット講義から始めることはせず、先に演習から取り組みます。できるところは後回し、できないところを徹底的にカバーすることで効率よく演習を回すことができ、自然とスピードと得点力が向上していきます。



●使用教材

問題集 各1冊 小学校全科※／中高国語／中高社会／中高数学／中高理科／中高保健／中高英語／特別支援／養護教諭



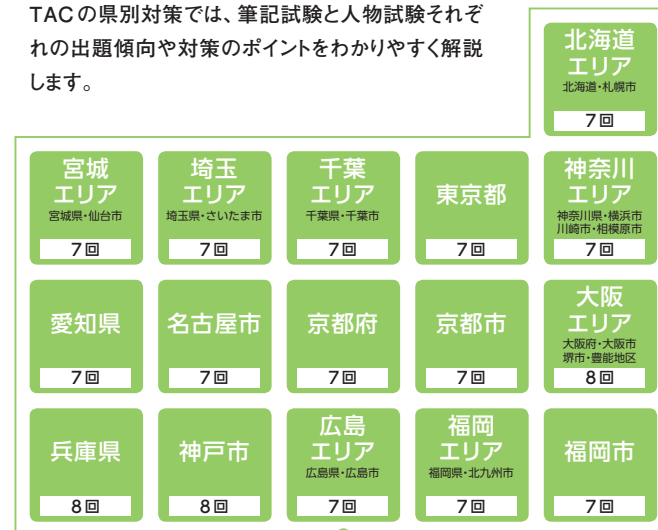
- 頻出問題・重要問題をテーマ別に収載
 - 教科に関する問題はもちろん、学習指導要領や教科指導法まで幅広い範囲をカバー
- ※小学校全科は国社数理英の分野は一般教養問題集を使用して学習します。

県別対策

INPUT 180分×7～8回* *自治体により異なります。
*第1回と第8回は90分です。

自治体別に出題傾向と対策のポイントを解説。

教員採用試験は、自治体ごとに実施されるため、試験内容だけでなく、出題傾向も大きく異なります。TACの県別対策では、筆記試験と人物試験それぞれの出題傾向や対策のポイントをわかりやすく解説します。



過去問は、限られた時間の中で効率よく学習を進めていくための手がかりです。過去問の正確な分析と理解が学習全体の効率を大きく向上させます。当カリキュラムでは、過去問を熟知した講師が頻出・重要論点を解説しながら、自治体別に高得点・高評価に直結する対策のポイントを示します。

講義回	内容
1	オリエンテーション
2	教職教養 過去問解説1
3	教職教養 過去問解説2
4	人物試験解説1
5	教職教養 過去問解説3
6	人物試験解説2
7*	教育時事・教育施策解説

県別対策	受講者限定
県別論文添削	無制限
志願書・指導案添削	無制限

*大阪エリア、兵庫県、神戸市は全8回のカリキュラムとなります。第8回で取扱う内容は以下の通りです。【大阪エリア】他自治体では出題のない「数的処理」、【兵庫県】教員採用試験では出題の珍しい「情報処理」、【神戸市】例年3問程度出題される、環境・情報・社会などの一般教養(時事)。
*第8回の講義は先行して配信されることがあります。

●使用教材

テキスト 各1冊／人物ナビテキスト(全自治体共通)

